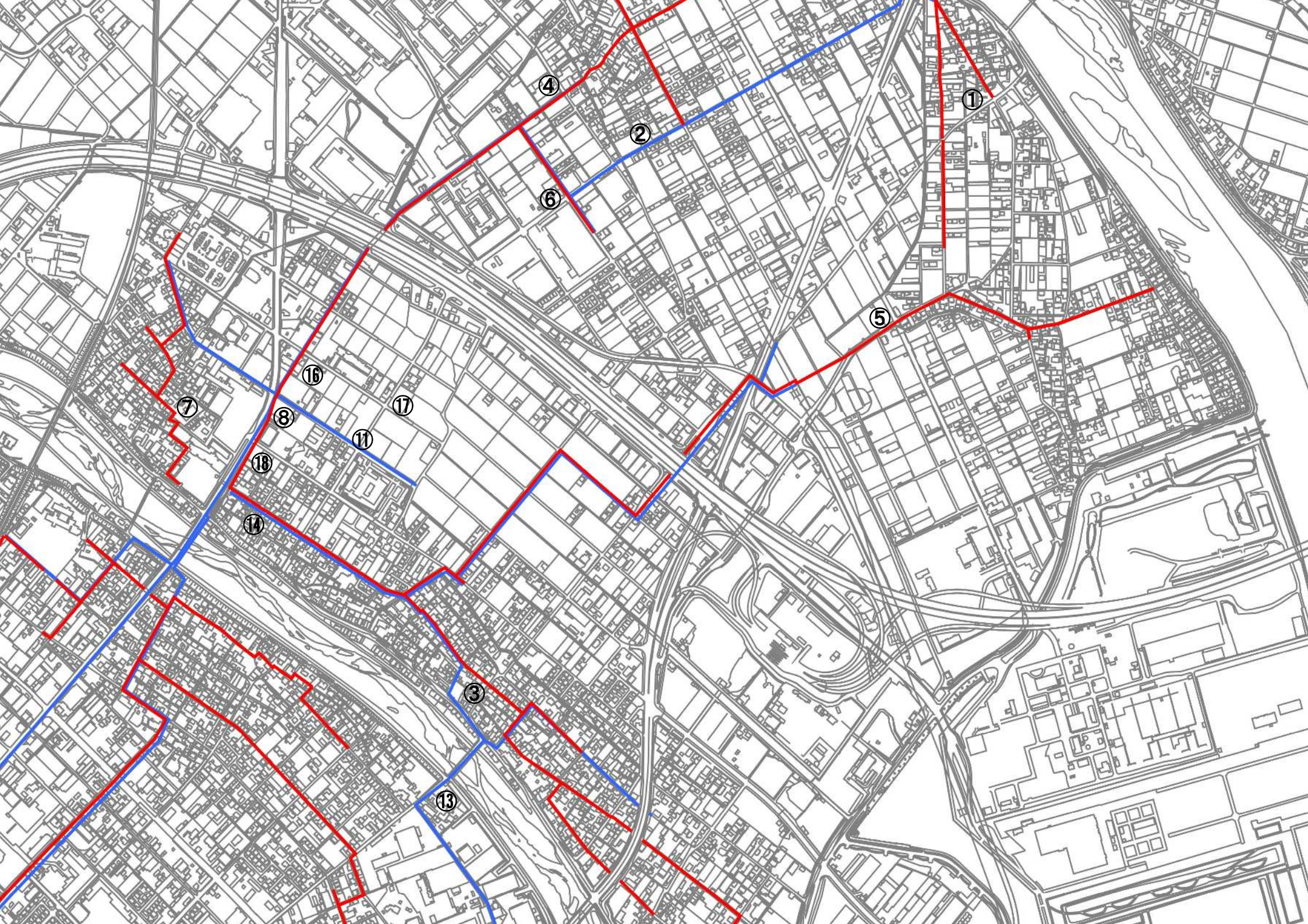


令和4年度通学路関係PTA要望検討結果

番号	要望内容	検討結果
北1	401号線を渡る児童が、渡ろうとしても停まらない自動車が多い。目立つ色で交差点の塗り直し。	警察へパトロール強化を要望します。 県道管理者へ要望します。
北2	スピードを出す自動車が多く、徐行しない。道路幅も狭いため、左右確認で体を出すことも危険が伴う。道路に「子ども注意」の表示。	路面表示の設置を検討します。
北3	細いが交通量が多く、渡るのに危険。「横断歩道の設置」「通学路のため減速」などの表示。道路の塗装の塗り直し。	横断歩道の設置を警察へ要望します。 県道管理者へ要望します。
北4	交通量が多く、危険。信号機の設置。無理ならば、交差点より手前に看板で「通学路」の表示。	信号機の設置とパトロール強化を警察へ要望します。 看板の設置は接触の危険性があるので難しく、のぼり旗と路面標示で対応しています。
北5	登校中、23号への抜け道のため、スピードの出ている自動車が多い。道が狭い。ポール・ガードレールの設置。	横断歩道の位置を考えると、ポールやガードレールの設置が難しいため、県道管理者や警察と対応について協議します。
北6	交差点で止まらない自動車が多い。旗や看板の設置。	学校・教育委員会で設置に向けて協議し、進めていきます。
北7	見通しが悪く、児童と自動車に対峙した際に気が付きにくい。カーブミラーの設置。	設置する場所が限られていて道幅も狭いため、設置することで自動車の通行に支障が発生するので、設置はできません。
北8	自動車がスピードを出していて、車が乗りあげないか心配。児童の待機場所(北・南側)に、ガードレールの設置	国道管理者へ要望します。
南1	交通量があり、見通しが悪い。スクールゾーンの標識や、交差点が目立つような色の表示。	交差点のカラー舗装を前向きに検討していきます。
南2	細い道で、地元住民の交通量も多い。路側帯の色分け・横断歩道及び「止まれ」の塗装。	道路の状況に合わせて、カラー舗装できる部分の検討を行い、進めていきます。 「止まれ」の塗り直しは、警察へ要望します。

中1	カーブミラーはあるものの、見にくい現状。停止線、標識の設置。	警察へ要望します。
中2	「スピードを落とせ」の看板の設置。	看板の設置は視界が悪くなるため、路面標示について検討します。 学校での注意喚起も行います。
中3	カーブミラーはあるが、目視しにくい。もう少し大きいカーブミラーにするなどの対策。	カーブミラーの交換時期が来た時に、大きくします。
中4	カーブミラーが右側にしかなく、左側からの車、子どもたちの動き(自転車)がわかりにくい。左側カーブミラーの設置。また、目立つ色での道路の塗装。	カーブミラーの設置で対応します。
幼1	道路に徐行注意の塗装。歩道側に飛び出し坊やの据え付け。	トンネル入り口付近に路面表示を検討します。
幼3	自転車や歩行者が急に交差点内に飛び出すことがある。「止まれ」の徹底。	「止まれ」の標識を守る大切さを指導していく。
幼5	ミラーや看板が設置されているが事故が多い。「減速」「交差点注意」などの表示。	路面標示、カラー舗装、ハンプが設置済みのため、警察にパトロールを要望し、注意喚起することで対応します。
幼7	道路側に速度落とせの塗装。歩道側に飛び出し坊やの据え付け。	警察へパトロールを要望します。 歩行者側の路面標示で対応します。



④

②

①

⑥

⑤

⑦

⑩

⑪

⑧

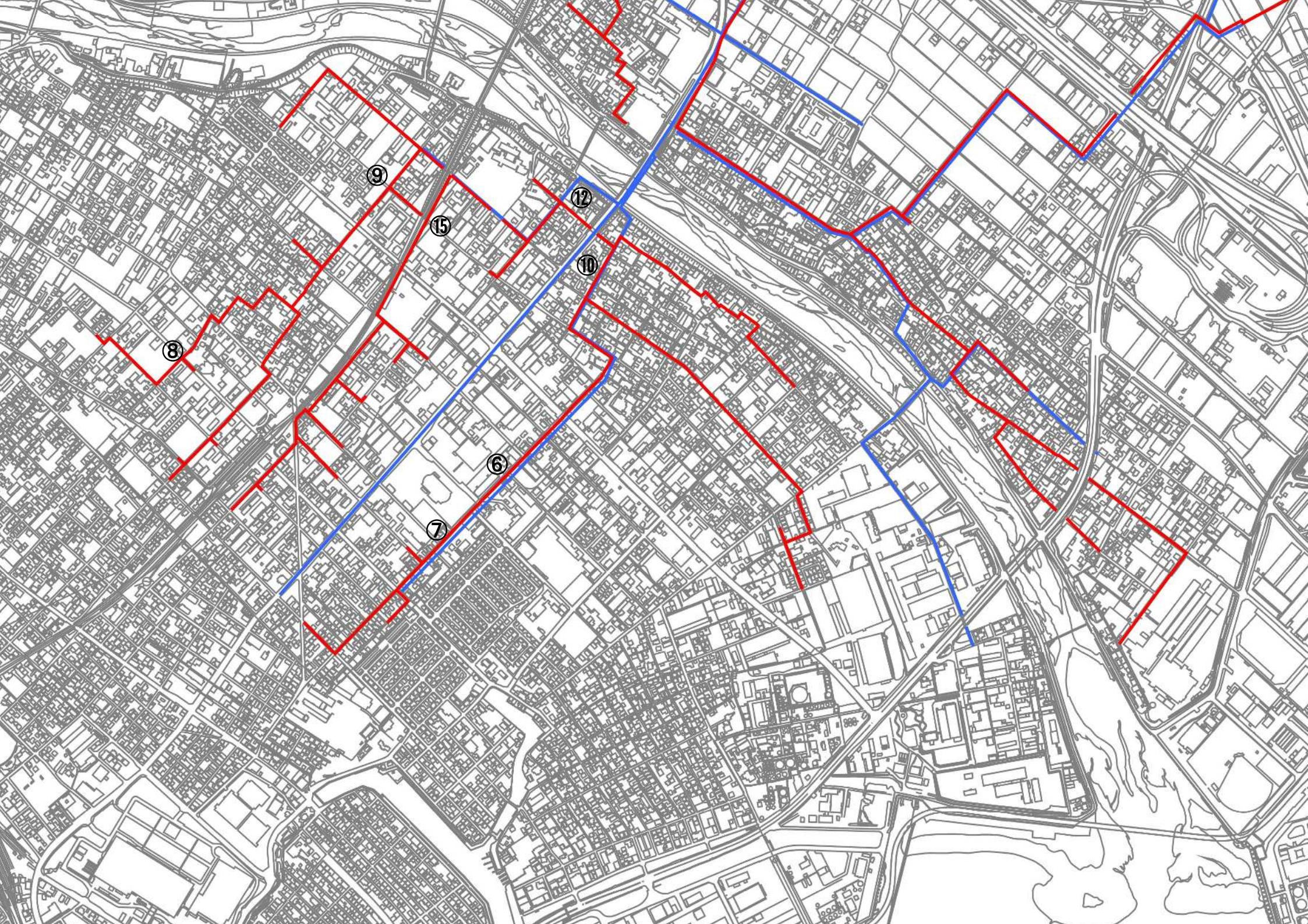
⑫

⑬

⑭

③

⑬



8

9

15

12

10

6

7